

■骨塩定量検査 Bone mineral quantitative

検査前に

検査着に着替えていただくことがあります。

検査部位に湿布、カイロ、エレキバン、金属、ボタン、プラスチック等がないようにしてください。

検査前に担当技師が説明いたします。

検査装置

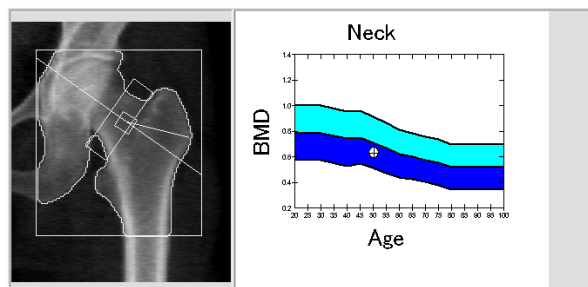


Discovery Wi

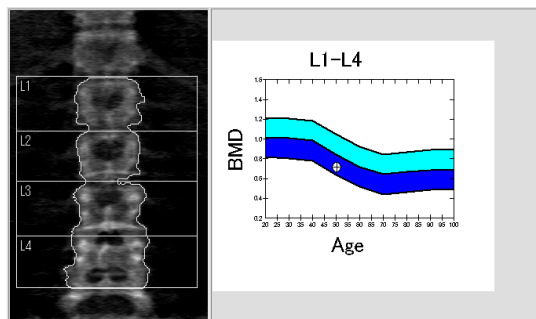
検査方法

検査台に動かずに寝ていただきます。検査時間は1部位につき約5分程です。

DEXA(dual-energy X-ray absorptiometry)法



大腿骨頸部



腰椎

DEXA 法とは

二重エネルギーX線吸収測定法(dual-energy X-ray absorptiometry)は、2種類のエネルギーのX線を測定部位に当てることにより骨成分を他の組織と区別して測定する方法です。この測定法では骨量(g)を単位面積(cm^2)で割った値で算出し、 1cm^2 当たりの骨量(g/cm^2)、つまり骨密度として表現されます。測定する骨は、腰椎、大腿骨頸部などです。誤差が少なく、測定時間が短く、放射線の被爆量も少ないという利点があります。このためDEXA法は、骨量測定の方法として重視され、骨粗鬆症の精密検査や、骨粗鬆症の治療効果の経過観察、また骨折の危険性予測に有用なものです。

BMD (Bone Mineral Density) : 骨密度 = 骨量 ÷ 面積(単位 g/cm^2)

BMC (Bone Mineral Content) : 骨塩量 (単位 g)

Area : 面積 (単位 cm^2)

注意事項

以下の項目に該当する方は、検査前に担当医師または技師にご相談ください。

- ・妊娠中または可能性がある
- ・前日または当日にCT・MRIの造影剤を使用した。
- ・1週間以内にバリウム検査または核医学検査をした。

実績

令和5年度

撮影件数（人）
1693